



(4,000円)

実用新案登録願 (B) 後記号なし

昭和 54 年 6 月 30 日



特許庁長官殿

1 考案の名称

ユカメンセイソウキ
床面清掃機

2 考案者

住所 大阪府門真市大字門真1006番地
氏名 ツツミ シン ヤ
堤 信 也

3 実用新案登録出願人

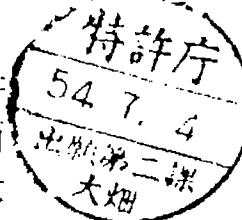
住所 大阪府門真市大字門真1006番地
名称 (582) 松下電器産業株式会社
代表者 山下 俊彦

4 代理人 〒540

住所 大阪市東区谷町1丁目42番地ノ1 夫宮井
氏名 エルフ大手前ビル616 山井理
(7617) 弁理士 宮井 映夫 映士

5 添付書類の目録

- (1) 明細書
- (2) 図面
- (3) 委任状
- (4) 願書副本



1 通
1 通
1 通
1 通

54 091605

9345

明 細 書

1. 考案の名称

床面清掃機

2. 実用新案登録請求の範囲

捻転自在の移動操作用ハンドルと、その捻転操作に連動して向きを変えることができる車軸をもつ移動用車輪と、この移動用車輪により駆動される駆動部と、この駆動部に連結された清掃機本体とを備えた床面清掃機。

3. 考案の詳細な説明

この考案は床面清掃機に関するものである。

車輪で駆動口と清掃機本体を支えるようにし上方へ向って長柄状のハンドルを突出させた第1図および第2図に示す形式の従来の電気掃除機は、清掃作業中に進行方向を変えるためには車輪1を中心としてハンドル2を大きく回動しなければならず、大きな労力を要するうえそのために作業者自身も横に移動しなければならないという問題があった。

したがって、この考案の目的は、この問題を解

(1)

9245

・ 決し進行方向を極めて容易に転換することができ
・ る床面清掃機を提供することである。

・ この考案の一実施例を第 3 図および第 4 図に示
・ す。すなわち、この床面清掃機は、捻転自在の長
・ 柄状の移動操作用ハンドル 3 と、その捻転操作に
・ 連動して向きが変わる車軸 4 をもつ移動用車輪 5
・ と、この移動用車輪 5 により駆動される吸塵部 6
・ と、この吸塵部 6 に連結された清掃機本体 7 とを
・ 備えたもので、移動操作用ハンドル 3 を操作して
10 この床面清掃機を押し進めながら吸塵部 6 の下部
・ の床用吸込口 8 に設けたブラシ 9 で掃きよせられ
・ る塵埃を清掃機本体 7 の集塵袋内に収納するよう
・ にしている。そしてこの移動操作用ハンドル 3 は
・ その下端に屈曲レバー 10 を取付けるとともにそ
15 の両分岐端からロッド 11、リンク 12 を介して
・ T 字型の車軸 4 と連結し、移動操作用ハンドル 3
・ をたとえば第 4 図のように時計方向に捻転したと
・ きに車軸 4 が同じく時計方向に回転するようにし
・ ている。

・ なお、この移動操作用ハンドル 3 は清掃機本体

・ 7 の上下部分に軸受型の取付金具 1 3 で回動（捻
・ 転）自在に固定されている。

・ このように構成したため、この床面清掃機を床
・ 面上に移動させながら清掃する場合に、その移動
・ 操作作用ハンドル 3 を捻じるだけで車軸 4 の向きが
・ 変って移動用車輪 5 の進行方向が変わり、吸塵部 6
・ を移動用車輪 5 の向いた方向へ移動することがで
・ きる。すなわち、移動操作作用ハンドル 3 の捻転操
・ 作に連動して極めて簡単に吸塵部 6 の移動方向が
・ 10 変わり、新たな床面へ向って進むことができ、移動
・ 用車輪 5 を中心として清掃機本体を持上げて移動
・ 操作作用ハンドル 3 を大きく回動させたり、作業者
・ 自身が横に大きく移動する必要もなく、能率よく
・ 清掃作業を行うことができる。

15 ・ なお、この考案は吸塵部 6 と清掃機本体 7 とを
・ ホース等で連結した他の形式の清掃機にも適用す
・ ることができる。

・ 以上のように、この考案の床面清掃機は、捻転
・ 自在の移動操作作用ハンドルと、その捻転操作に連
・ 20 動して向きを変えることができる車軸をもつ移動

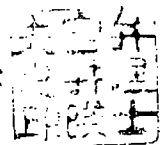
・ 用車輪と、この移動用車輪により駆動される吸塵部と、この吸塵部に連結された清掃機本体とを備えたため、進行方向を極めて容易に転換できるといふ効果がある。

4. 図面の簡単な説明

・ 第1図は従来 of 床面清掃機 of 一例を示す概略平面図、第2図はその側面図、第3図はこの考案 of 一実施例 of 側面図、第4図はその下面図である。

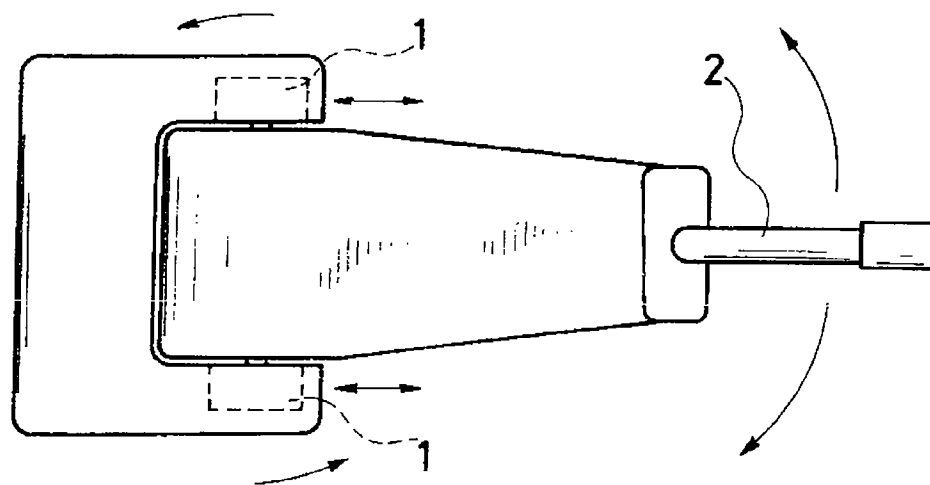
・ 3 … 移動操作作用ハンドル、4 … 車軸、5 … 移動用車輪、6 … 吸塵部、7 … 清掃機本体

代 理 人 弁 理 士 宮 井 暎 夫

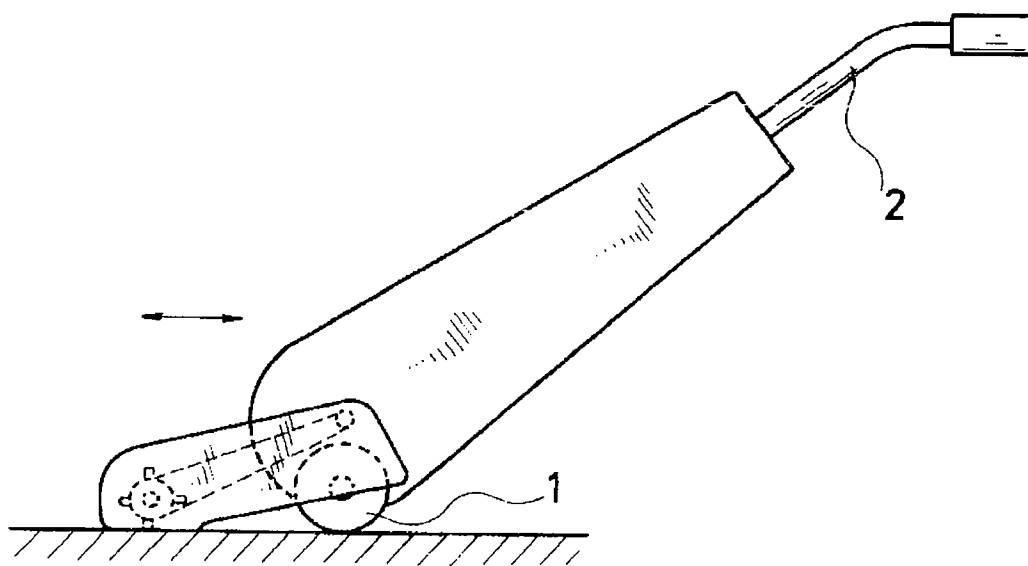


15

20



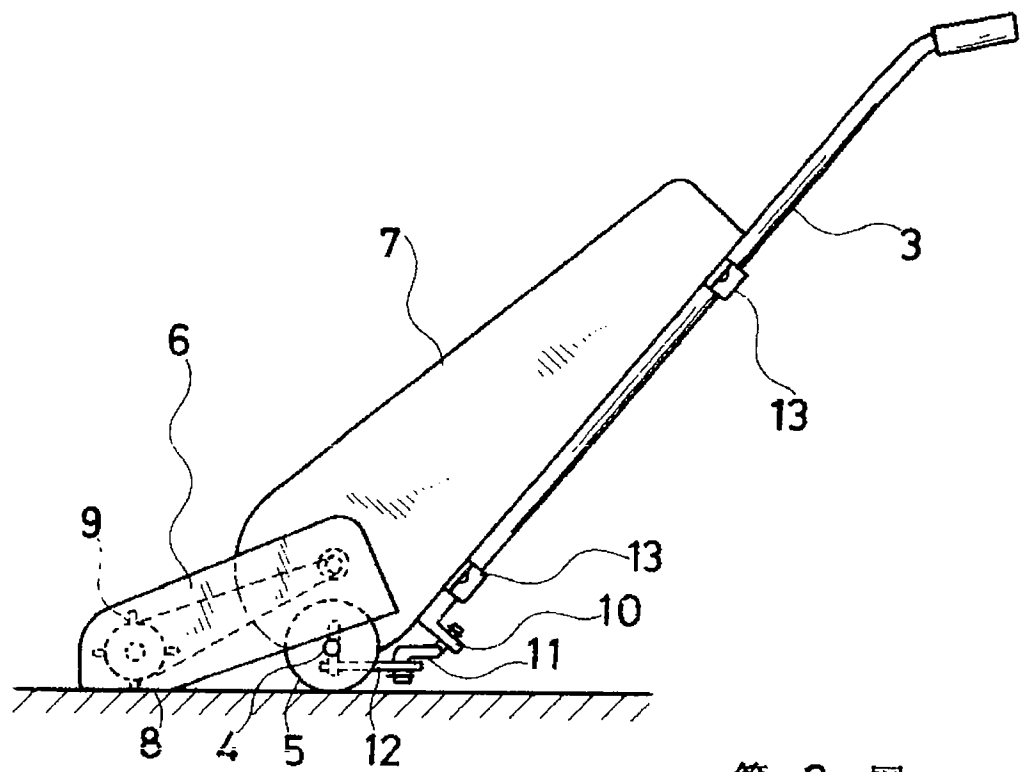
第 1 図



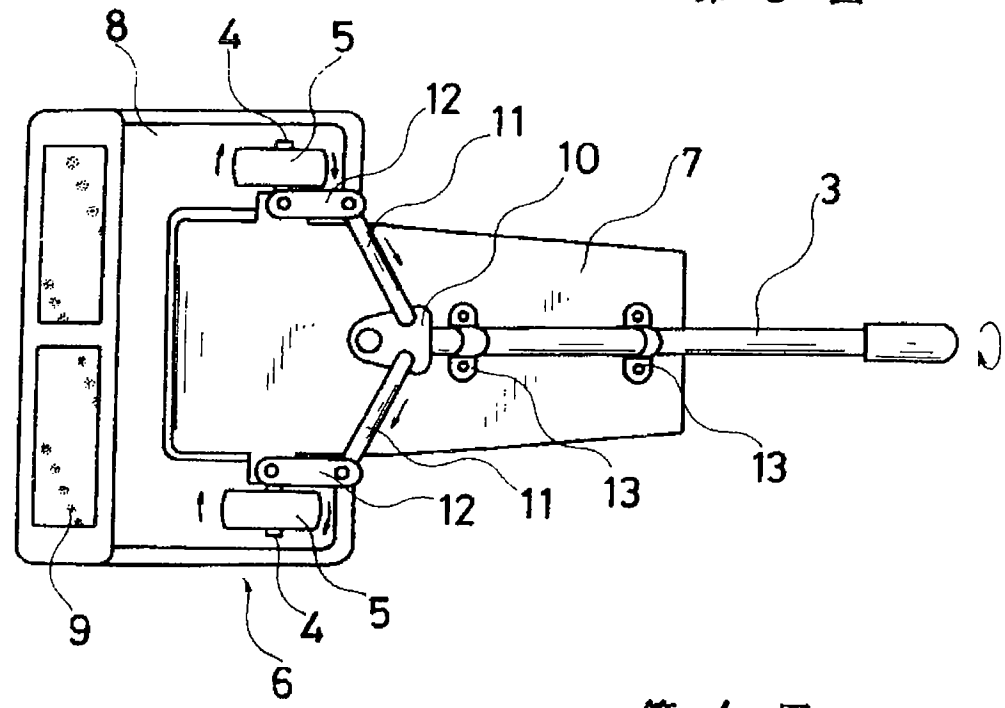
第 2 図

9345 $\frac{1}{2}$

1



第 3 図



第 4 図

3045 $\frac{2}{2}$